

A large, stylized yellow map of Ehime Prefecture, Japan, serves as a background for the central text. The map shows the main island and several smaller islands to the north and west.

経営説明会資料

2010年7月

株式会社 愛媛銀行

第Ⅰ部 当行の概要

当行の営業エリア
愛媛県の産業構造の特徴
愛媛県の経済指標

第Ⅱ部 2010年3月期決算概況

決算概要(単体)
コア業務粗利益の増減要因
当行の特徴
貸出金の状況
利回り推移
預金等、預り資産の状況
有価証券運用
開示債権／信用コストの状況
大口与信先の状況
自己資本比率の状況(単体)

第Ⅲ部 第13次中期経営計画について

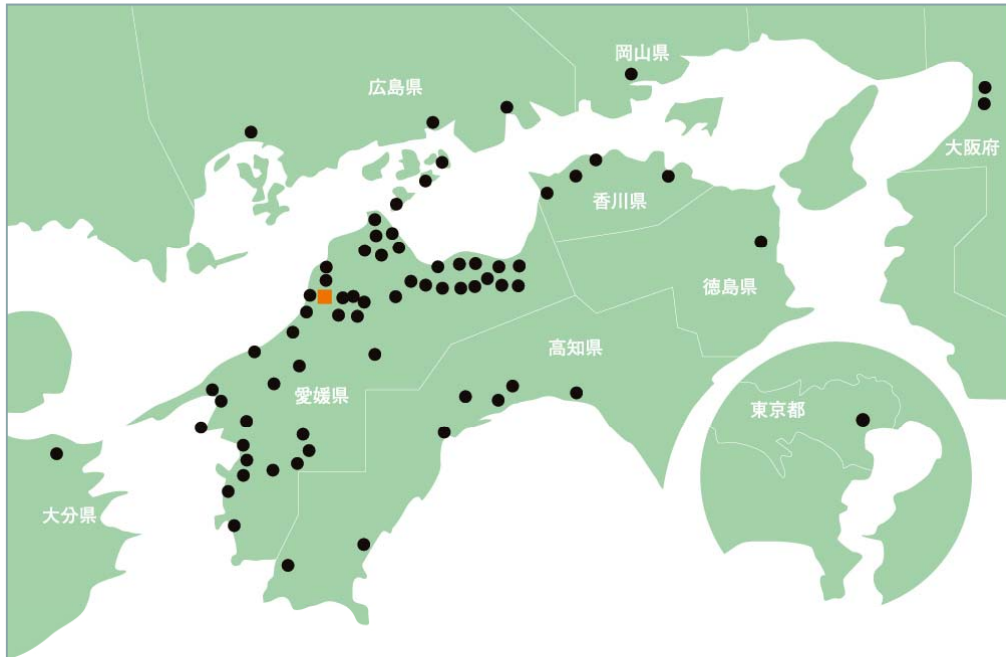
第13次中期経営計画の概要
中期経営計画について(単体)
法人戦略(中小企業向け貸出)
法人戦略(海運関連向け貸出)
法人戦略(中小企業の付加価値を高める取り組み)
個人ローン戦略

第 I 部
当行の概要

当行の営業エリア

- 当行は愛媛県を中心に、国内102店舗(うち出張所7)で営業しています。
(愛媛県81、高知県7、香川県4、徳島県1、広島県3、岡山県1、大分県1、大阪府2、東京都1、インターネット支店)
- 預金は5期ぶり、貸出金は3期ぶりに愛媛県内シェアが上昇しました。

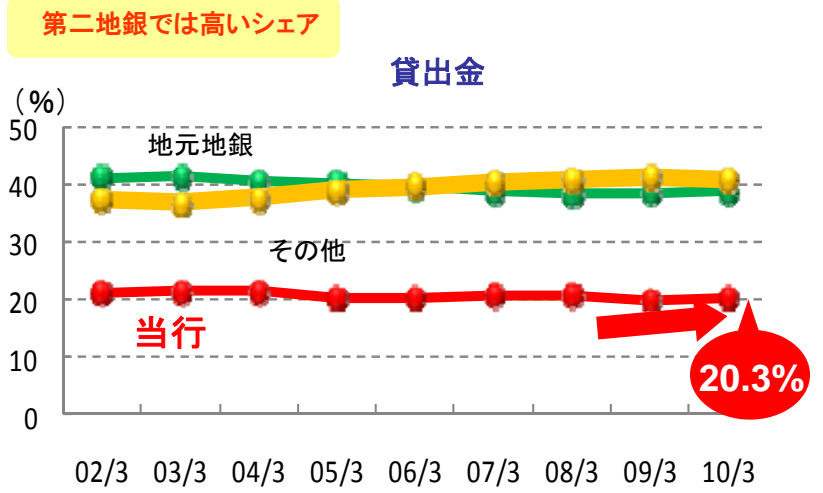
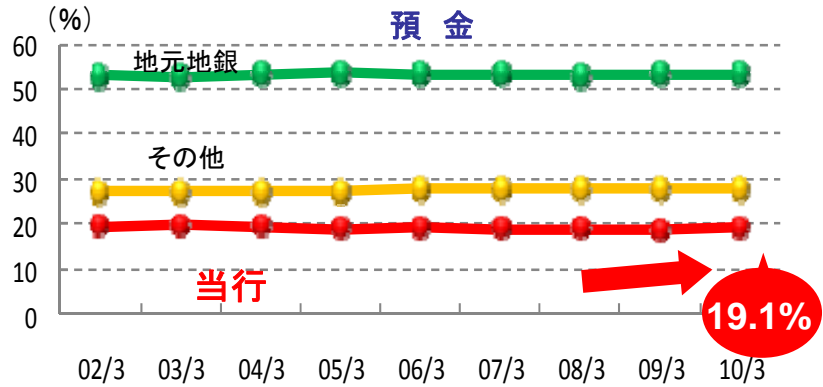
店舗展開



平成21年4月以降の新設・移転店舗

石井支店(移転) (H21.11月)	余戸支店(移転) (H21.11月)
伯方支店(移転) (H21.11月)	であい出張所 (H21.11月)

愛媛県内シェア



第二地銀では高いシェア

愛媛県の産業構造の特徴

主要生産品

※愛媛県の統計資料より

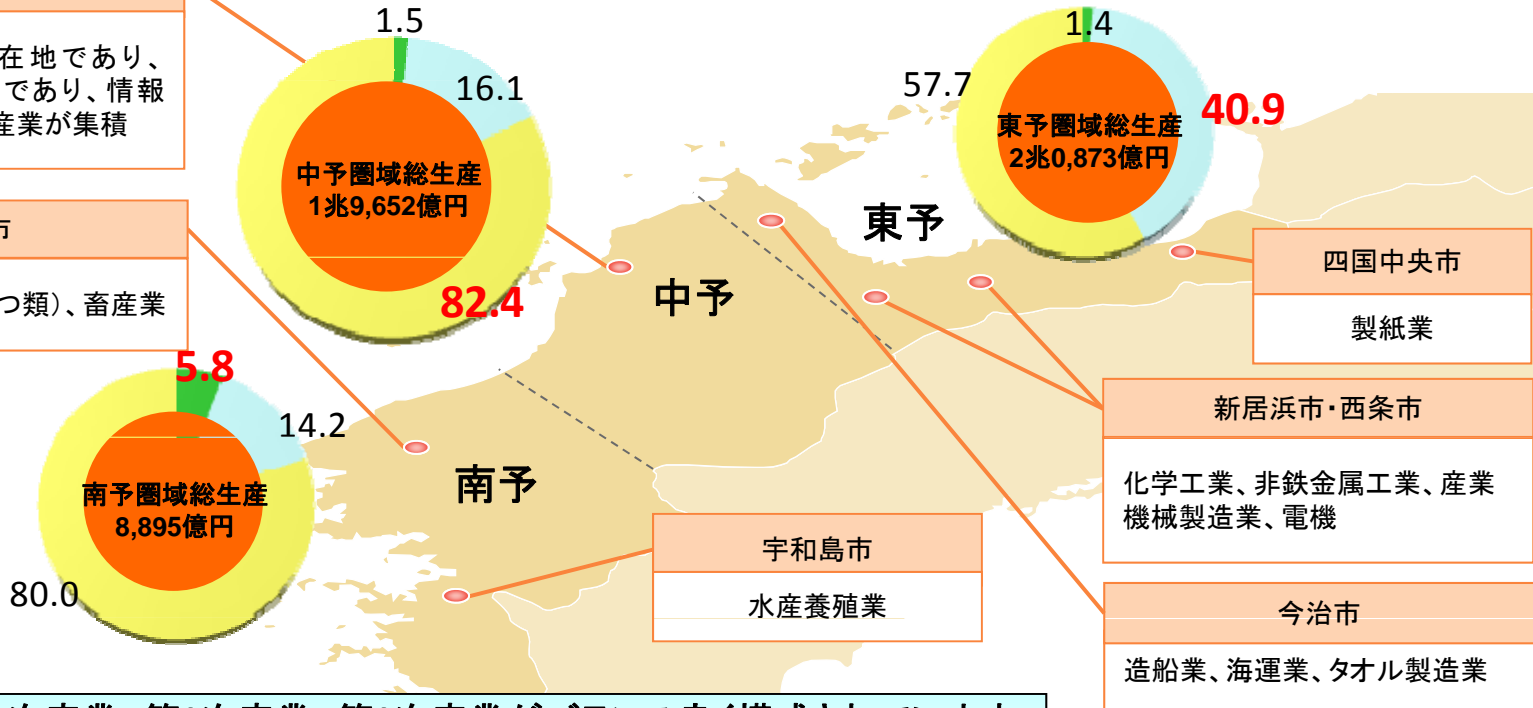
品目 (18年度調査)	生産量または金額		比率 (%)	順位	
	全国	愛媛県			
農水産物	いよかん(t)	85,700	71,200	83.1	1
	キウイフルーツ(t)	32,500	7,400	22.8	1
	裸麦(t)	13,400	5,640	42.1	1
	養殖真鯛(t)	71,141	37,008	52.0	1
工業製品	タオル(百万円)	50,319	29,092	57.8	1
	紙製衛生材料(百万円)	16,537	9,648	58.3	1
	鋼製貨物船の新造(百万円)	1,000,359	193,090	19.3	-

平成19年度県内総生産(名目)
4兆9,421億円

松山市
愛媛県の県庁所在地であり、政治・経済の中心であり、情報サービス業や食品産業が集積

大洲市
農業(野菜、かんきつ類)、畜産業

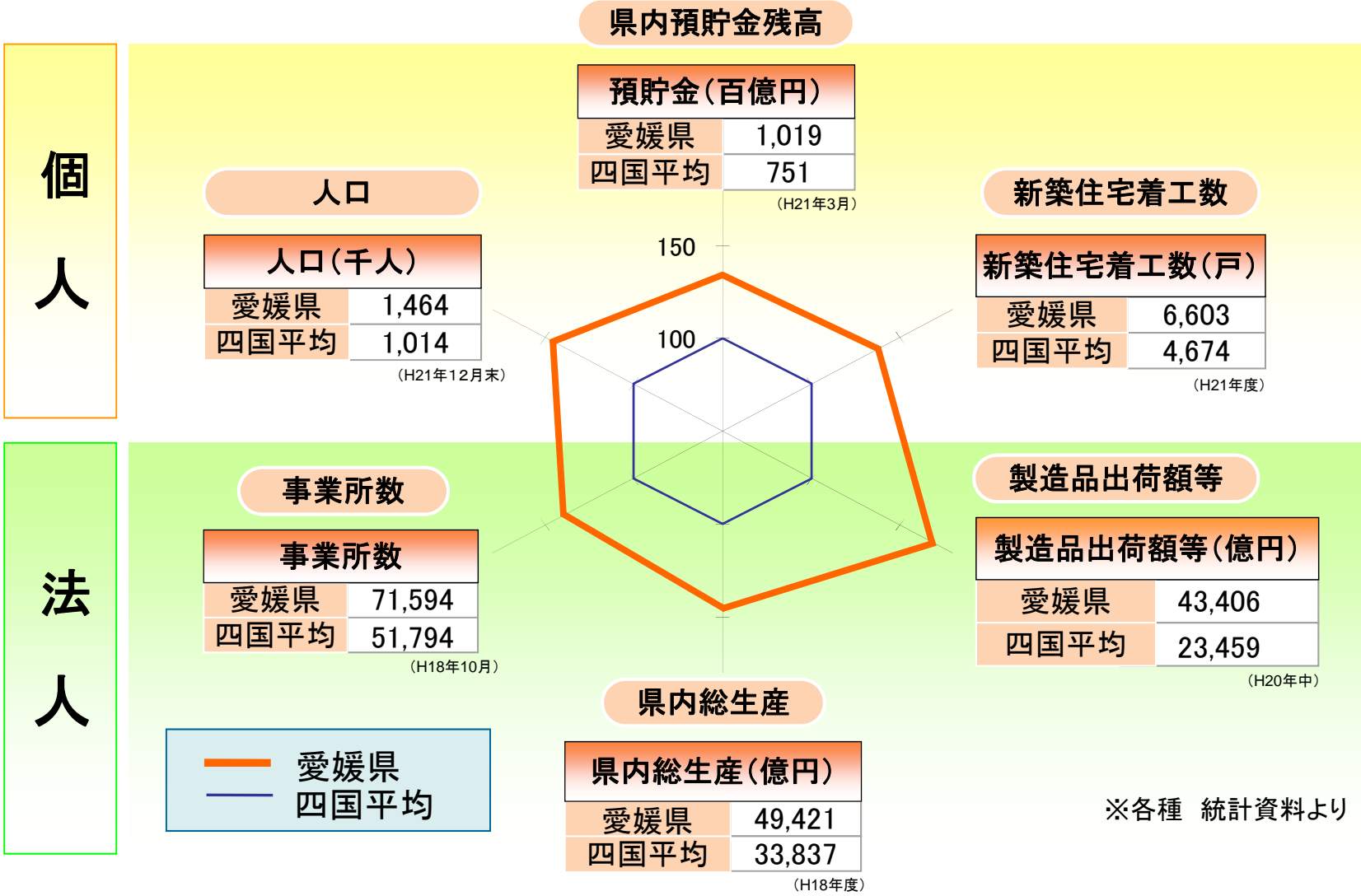
- 第1次産業
- 第2次産業
- 第3次産業



愛媛県は、第1次産業、第2次産業、第3次産業がバランス良く構成されています。

愛媛県の経済指標

■愛媛県は人口規模が四国内最大で、経済規模(ストック)は四国他県を大きく上回っています。



第Ⅱ部
2010年3月期 決算概況

2010年3月期 決算概要(単体)

■企業の資金需要の停滞により資金利益は減少しましたが、経費削減に努めた結果、コア業務純益はほぼ前年並みを確保しました。
 ■有価証券運用益の確保や信用コストを抑制したことにより、経常利益、純利益はV字回復を達成しました。

		09/3期	10/3期	前年比
コア業務粗利益	資金利益	306	295	▲11
	役務取引等利益	6	5	▲1
	▲経費	213	203	▲10
コア業務純益		103	100	▲3
業務純益	債券関係損益	▲18	13	31
	▲一般貸倒引当金繰入①	▲2	7	9
業務純益		88	106	18
経常利益	うち 株式関係損益	▲36	▲2	▲34
	うち▲不良債権処理額②	62	39	▲23
経常利益		▲20	61	81
当期純利益		▲31	33	64
▲信用コスト(①+②)		59	46	▲13

コア業務純益

資金需要の減少、貸出利回りの低下、および市況低迷により預り資産関連手数料は伸び悩みましたが、経費削減に努めた結果、前年並みのコア業務純益を確保しました。

経常利益

債券運用による運用益の確保や株式減損額の減少、前年に不良債権処理を前倒しした効果等により、今年度の不良債権処理額が抑制された結果、経常利益は61億円を確保しました。

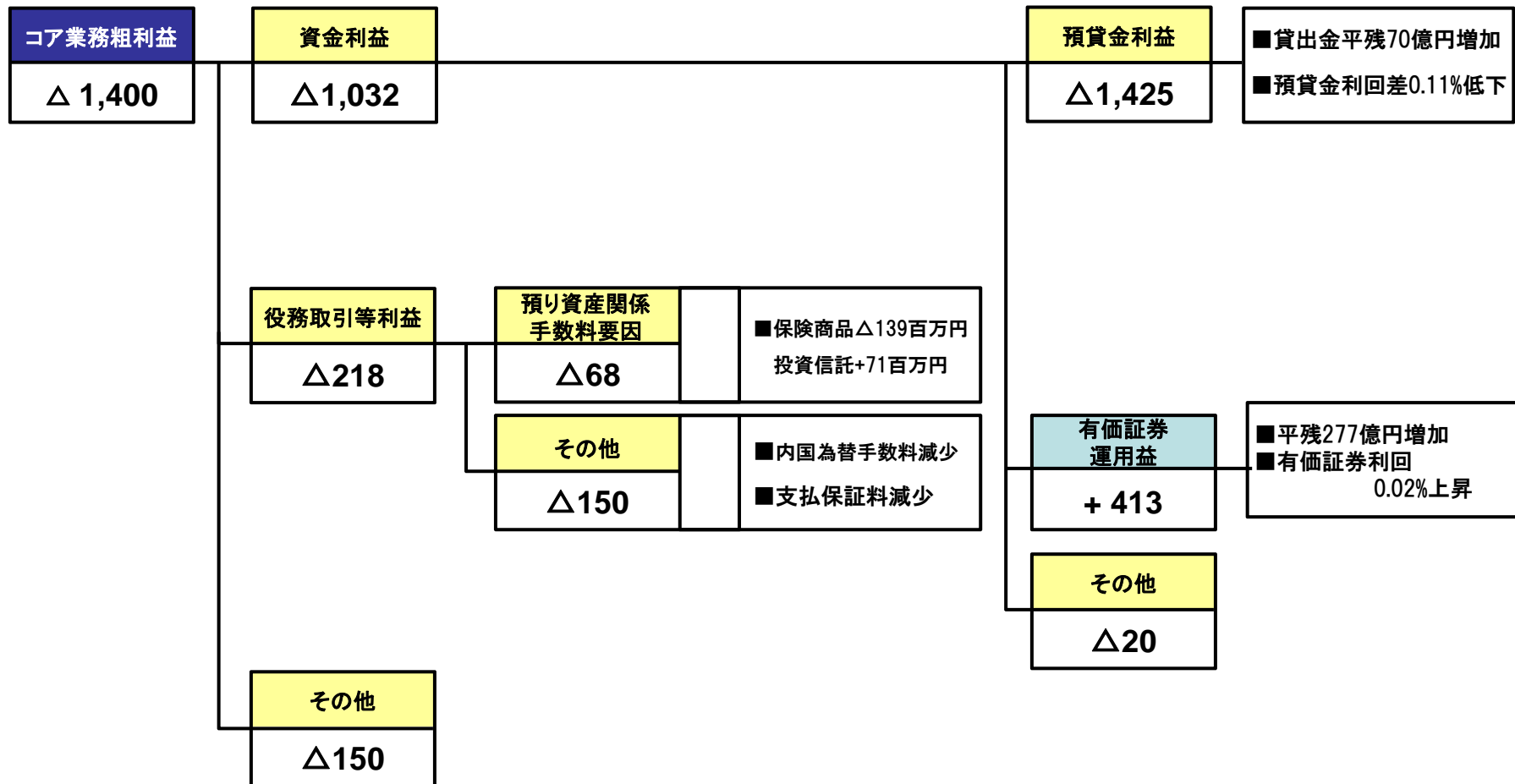
当期純利益

以上の要因により、当期純利益は33億円の黒字となりました。
 (08/3期28億円の黒字)

コア業務粗利益の増減要因

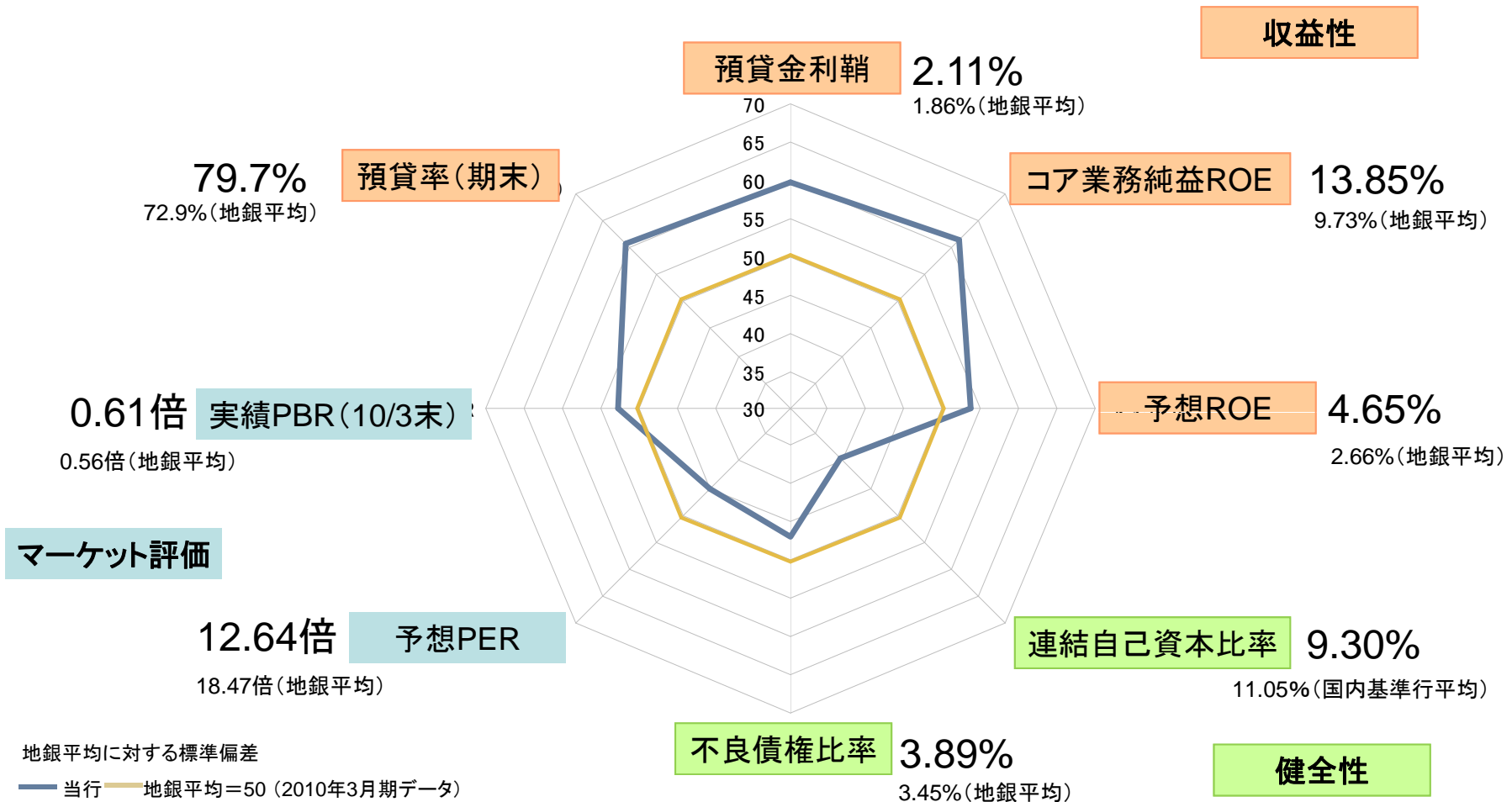
■資金利益は、貸出ポートフォリオの見直しに伴う利回りの低下、役務取引等利益は、市況低迷により預かり資産関係手数料が減少した結果、コア業務粗利益は14億円減少しました。

(対09年3月期比 単位:百万円)



当行の特徴

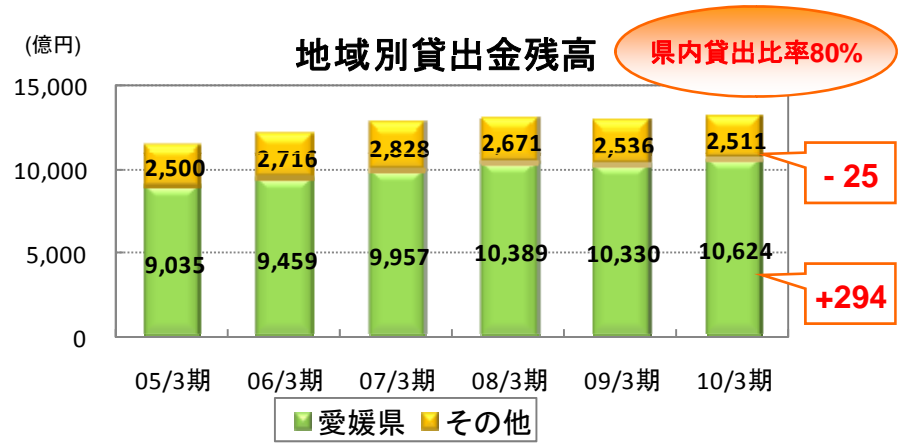
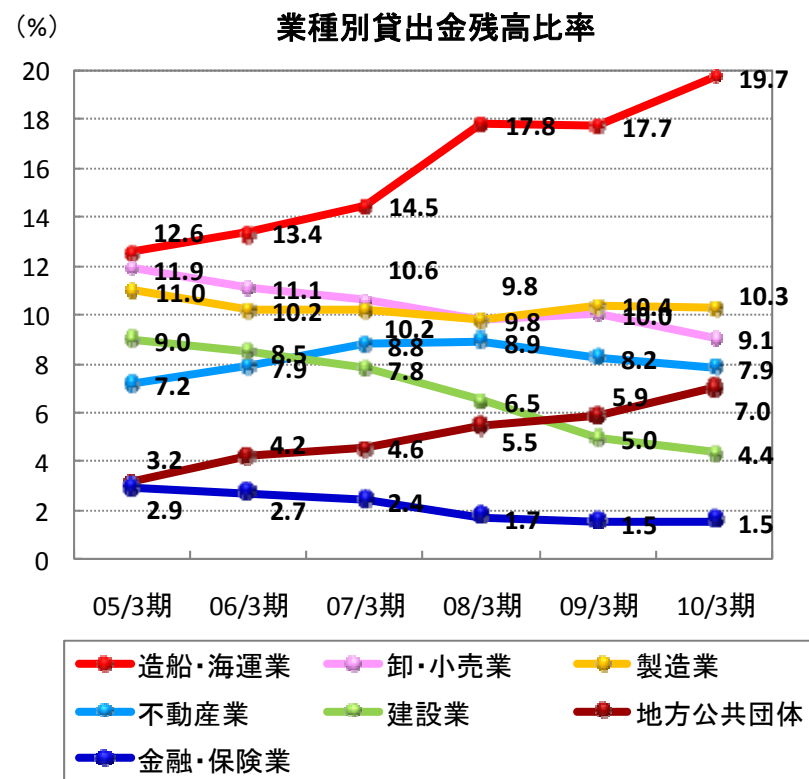
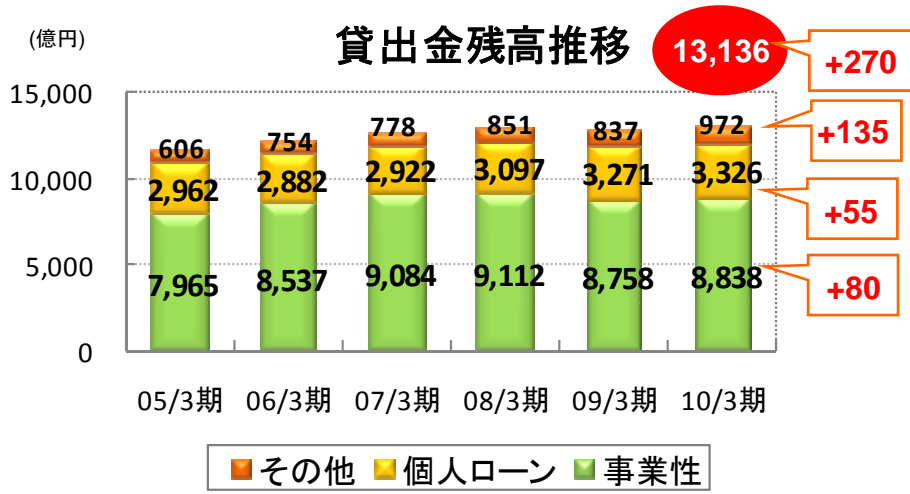
■収益性については地銀平均を全ての指標で大きく上回っております。
 ■自己資本比率は、地銀平均を下回りますが、内部留保の蓄積により、向上させていきます。



貸出金の状況

■個人ローンが順調、事業性貸出も増加に転じました。
 その他は、主として地公体が増加しました。
 ■地域別では、県内の貸出金が増加しました。

■海運・造船業、地公体の比率が増加しました。
 ■建設業、不動産業、卸・小売業、金融・保険業は引き続き減少しています。



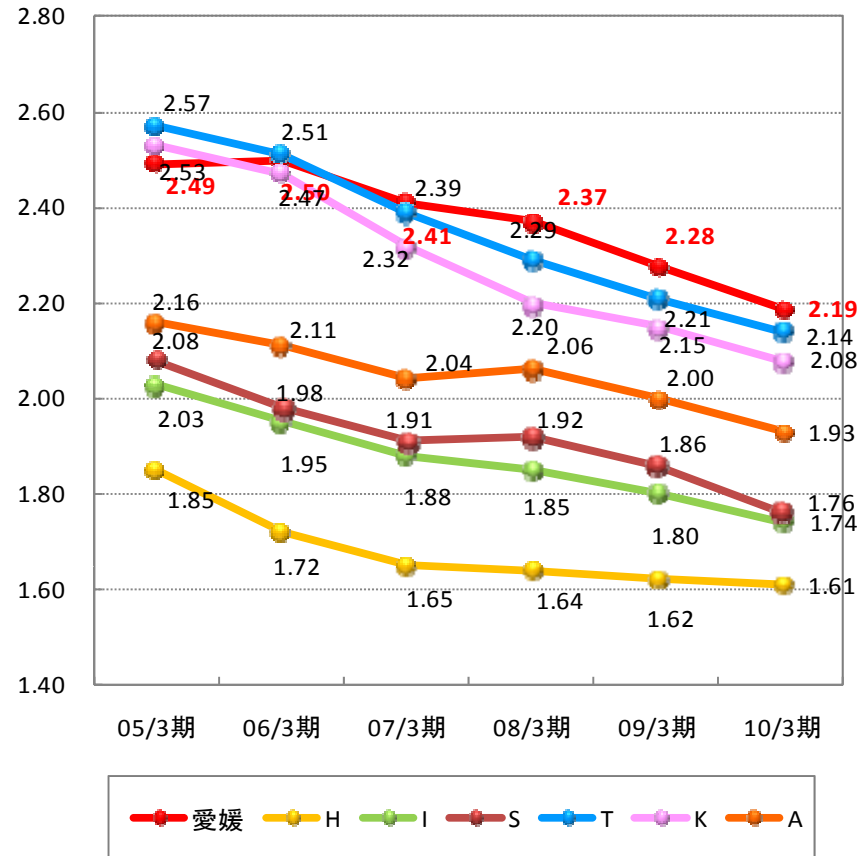
業種別信用リスク管理の強化

利回り推移

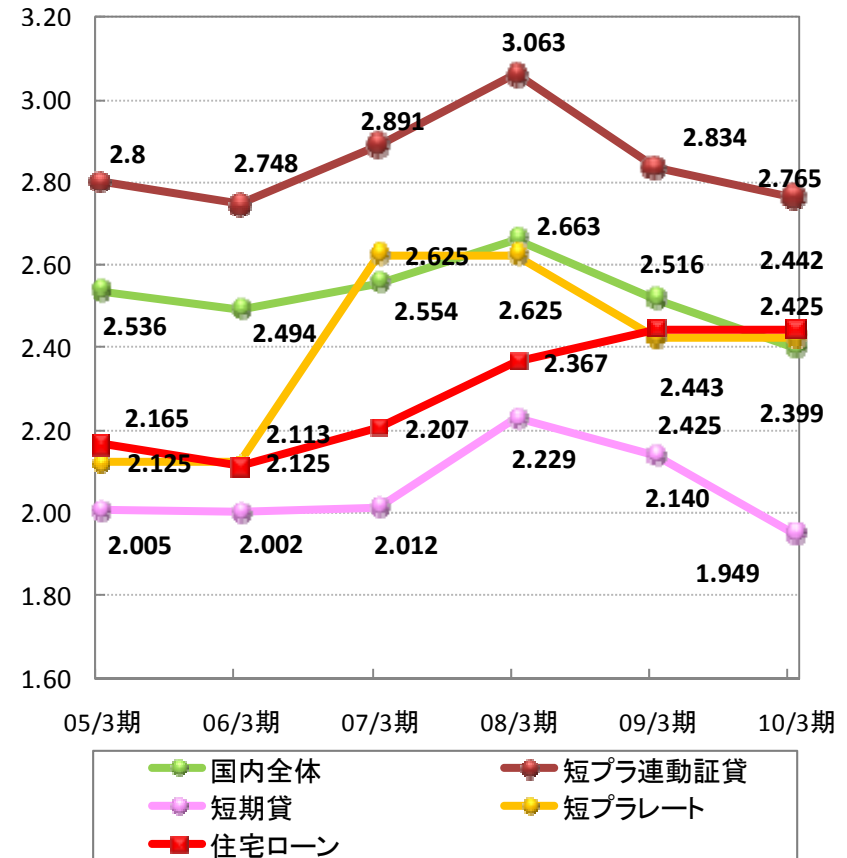
■貸出利回りの低下を主因に円貨預貸金利回り差の縮小傾向が続いていますが、四国内地銀では最も高い利回り差を確保しています。

■市場金利の低下を受けて、国内全体では約定利回りの低下が続いておりますが、注力している住宅ローン利回りは徐々に上昇しています。

(%) 四国内地銀の円貨預貸金利回り差の推移



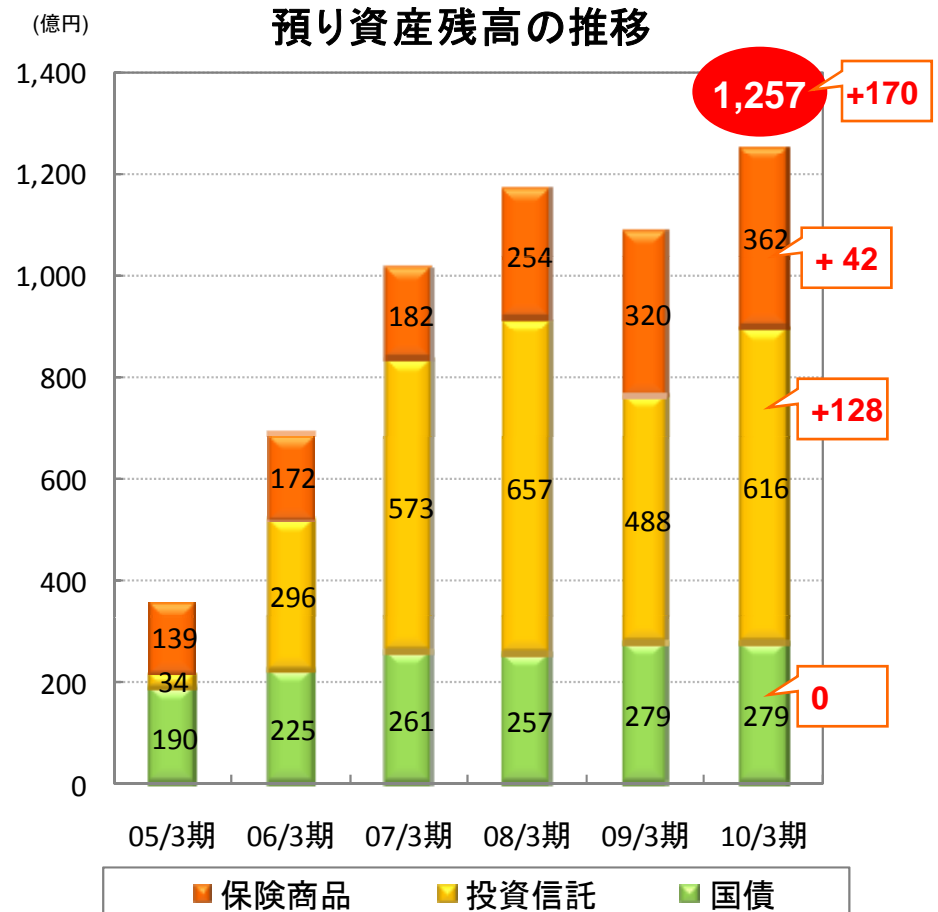
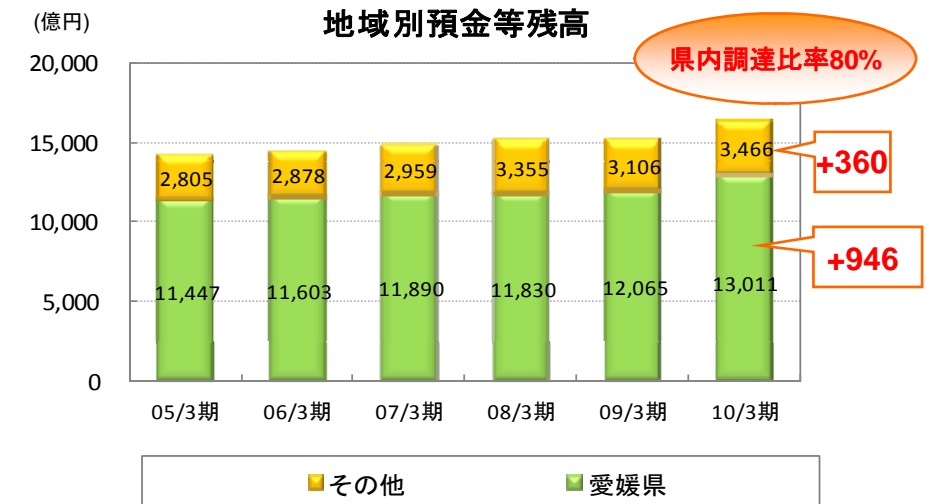
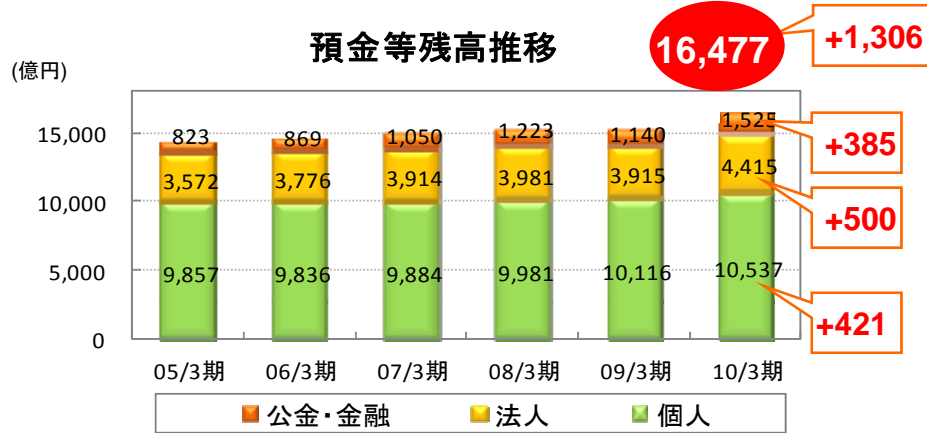
(%) 短プラと月中平均約定利回り(国内貸出金)の推移



預金等・預り資産の状況

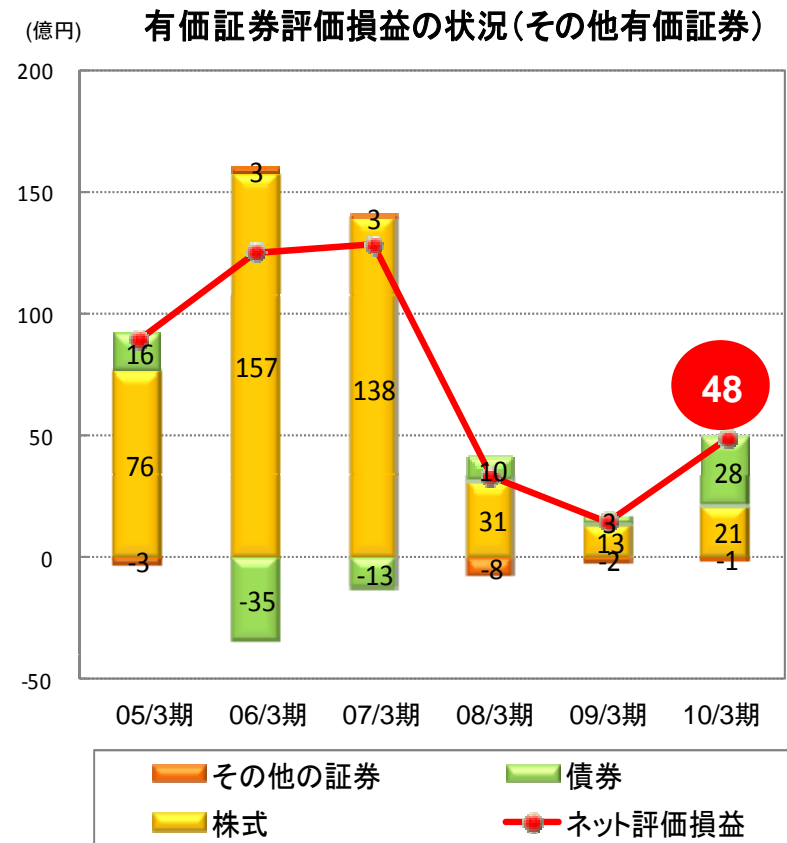
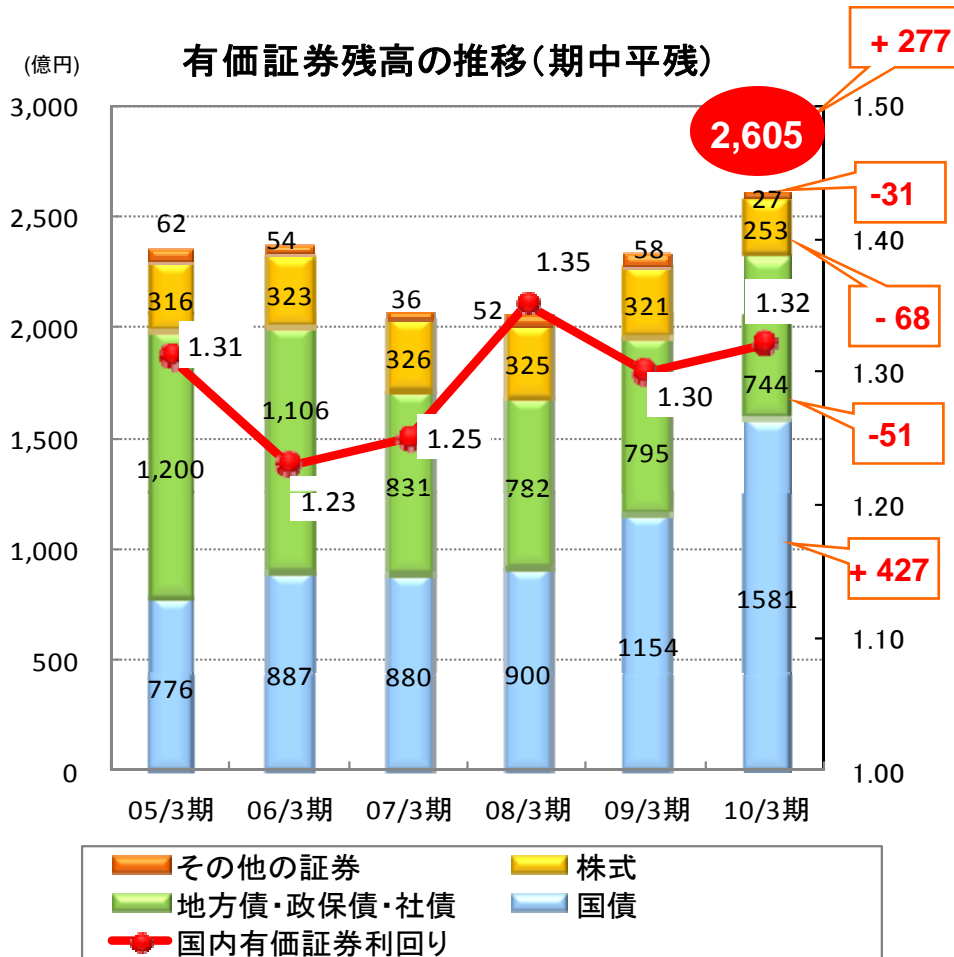
- 預金等(預金・NCD)は、対前年末比では過去最大の増加となりました。
- 個人、法人、公金・金融すべての属性で増加しました。

- 預り資産残高は、証券市況の回復もあり2期ぶりに増加しました。商品の品揃えを充実し、お客様のニーズを的確に捉えて、残高増強を図ってまいります。



有価証券運用

■ 国債を中心にボリュームを拡大させておりますが、機動的な売買により総合収益の拡大を志向しております。
 ■ 株式は引き続き抑制的に対応し、また、PIIGS向け関連への投資もありません。
 ■ 有価証券利回りも上昇し、その他有価証券のネット評価損益は+48億円とプラス圏で拡大しております。

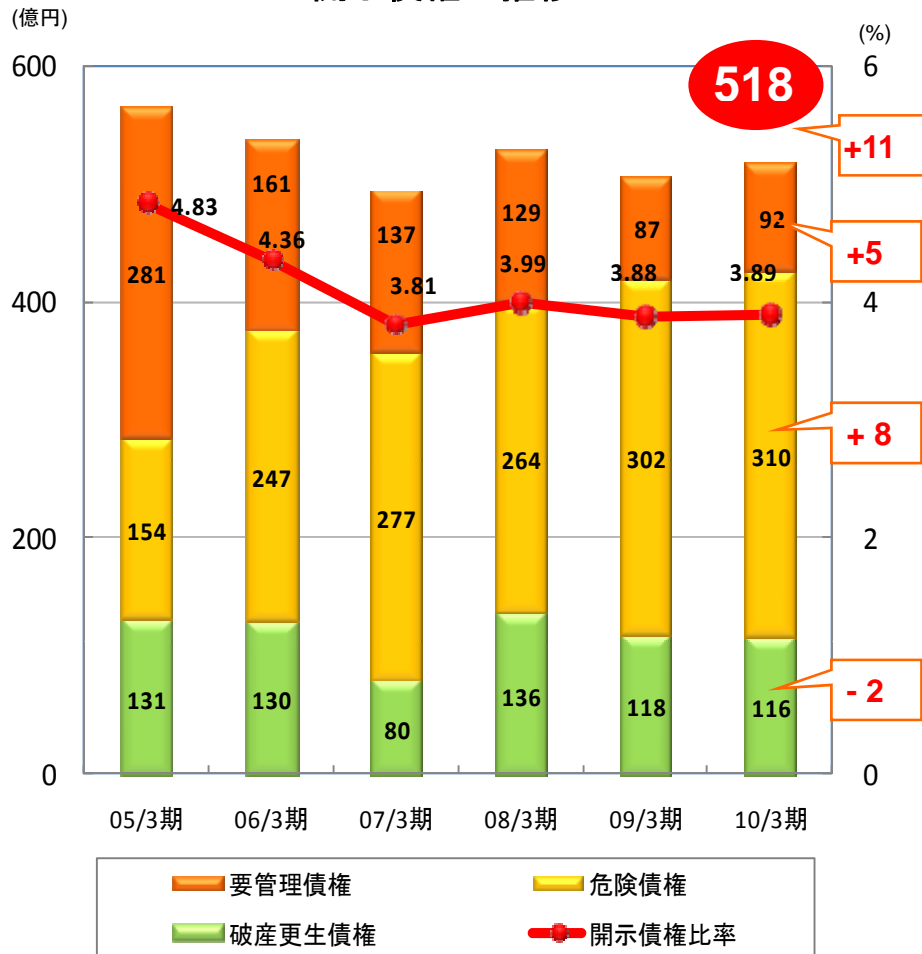


※15年変動利付国債の時価は、従来通り市場価格で評価しています。

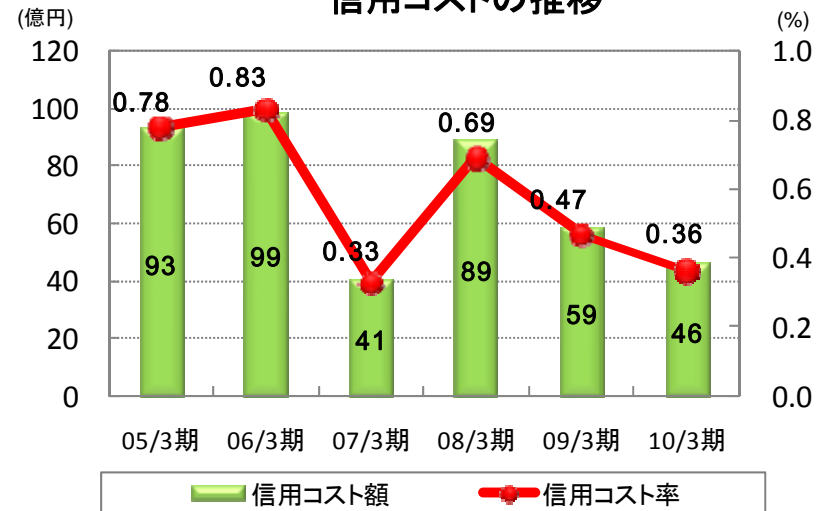
開示債権/信用コストの状況

■ 当行の強みを活かし企業再生に積極的に取り組むことにより、開示債権比率を抑制してまいります。
 ■ 信用リスク管理の強化を図り、さらなる信用コストの抑制に努めてまいります。

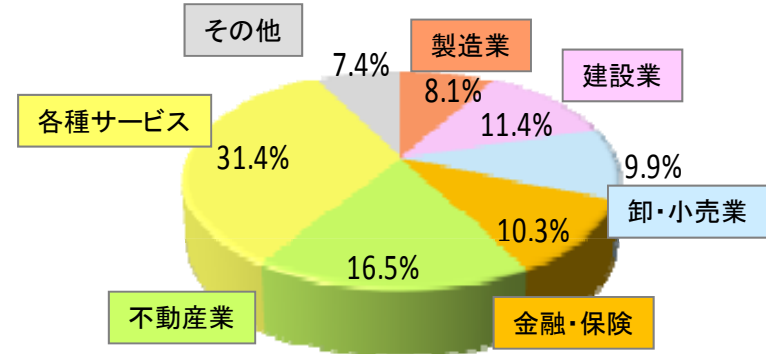
開示債権の推移



信用コストの推移

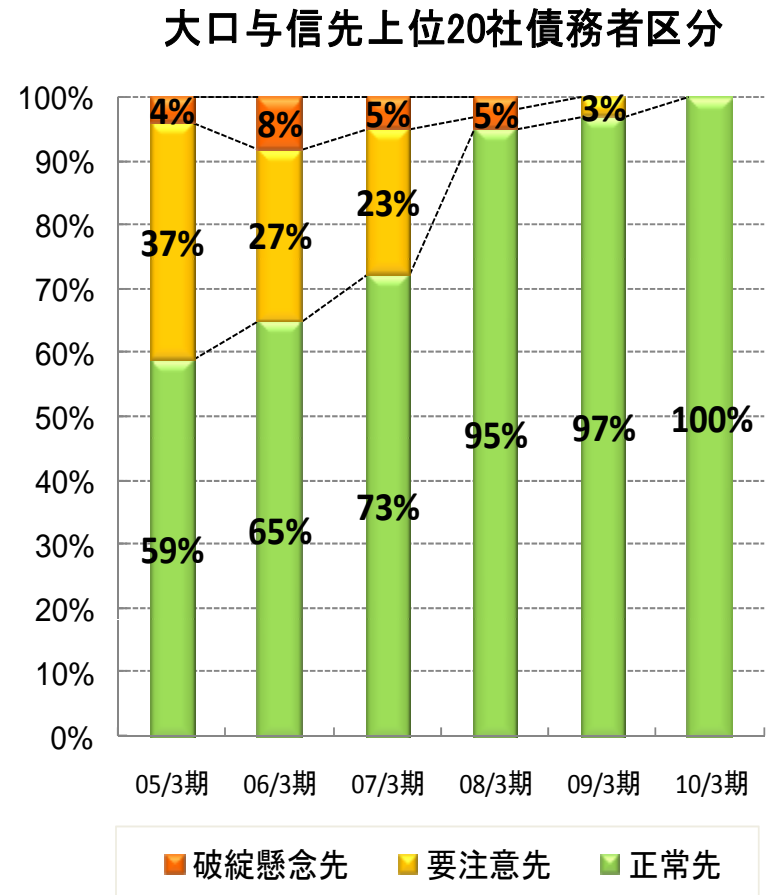
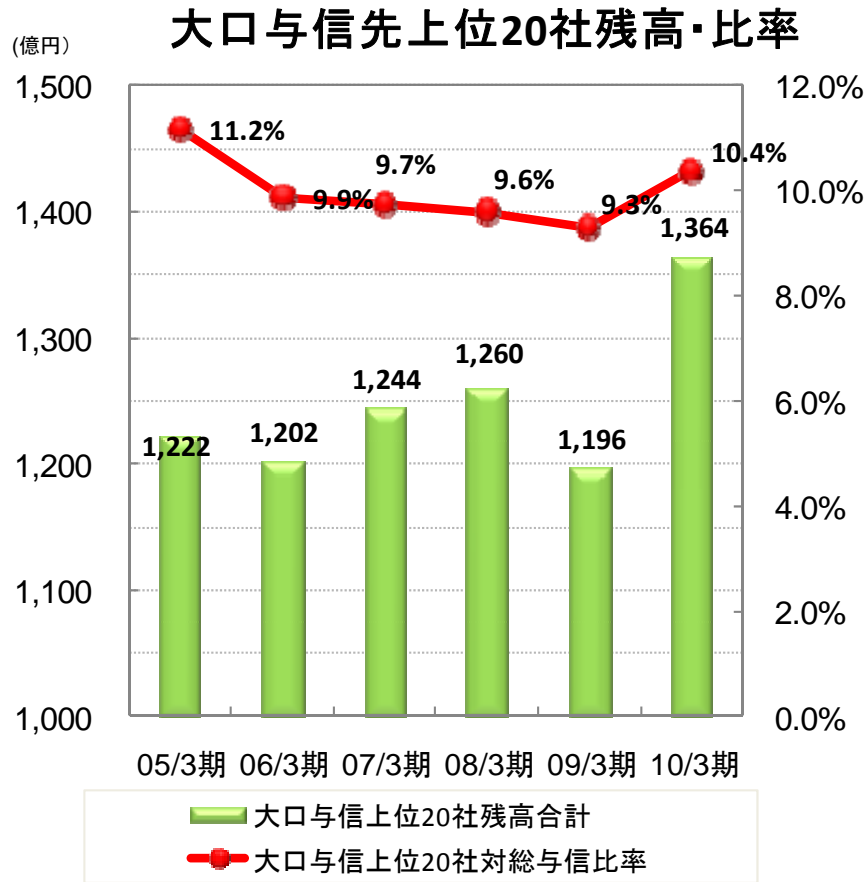


業種別不良債権の内訳



大口与信先の状況

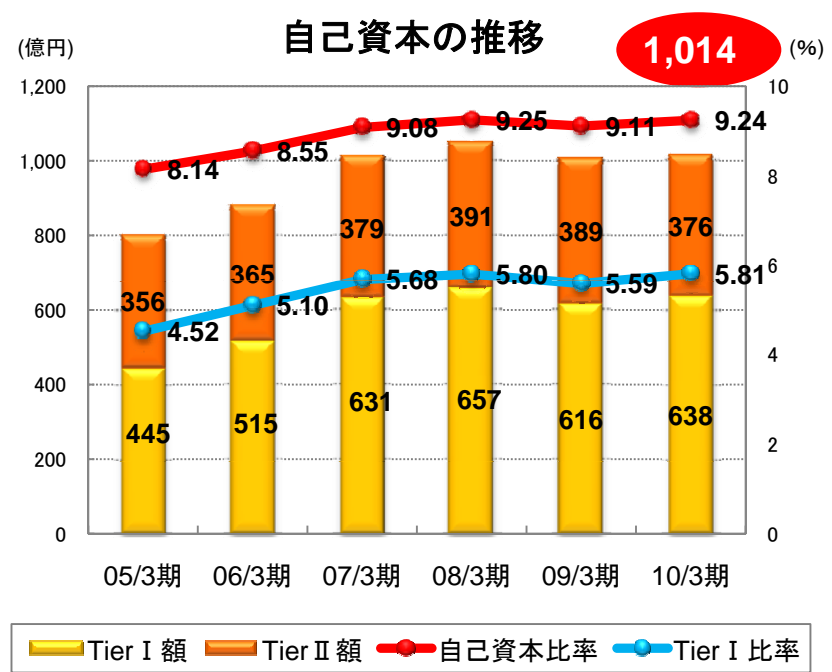
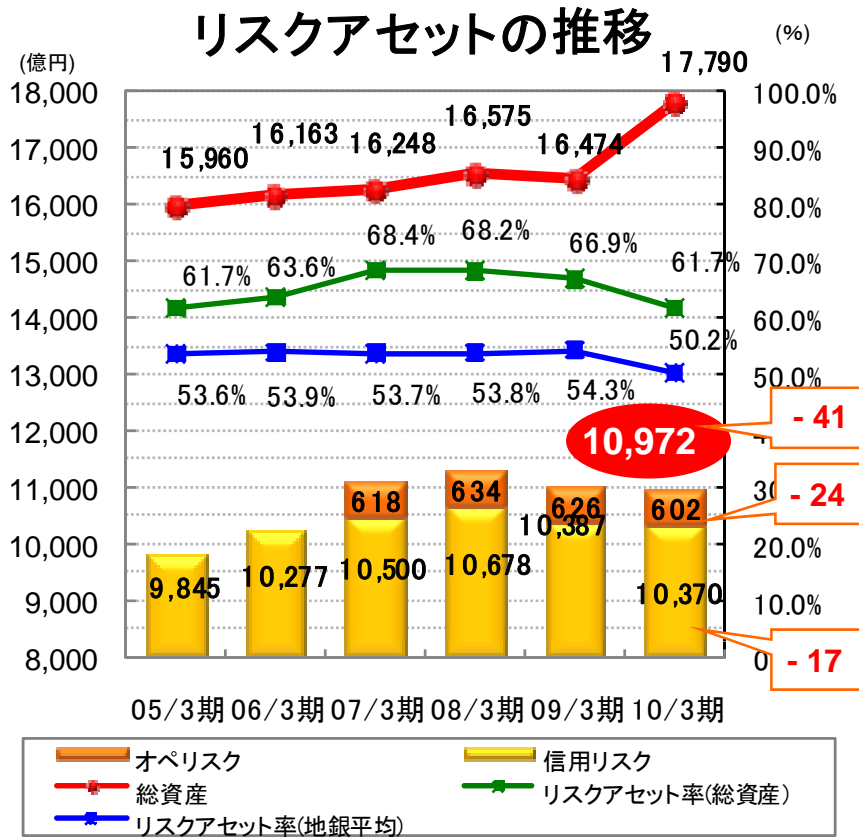
■大口与信先の残高が増加し、大口与信先比率も上昇していますが、正常先の比率が100%となりました。
 ■資産内容の良化に引き続き努めてまいります。(大口与信先の過半は海運業です。)



※地公体を除く

自己資本比率の状況(単体)

■リスク対比で必要な自己資本は有していますが、今後の成長資本を確保するため、内部留保の蓄積スピードを上げ、Tier1比率6%台の早期確保を目指します。なお、当行のリスクアセット率(リスクアセット÷総資産)は61.7%ですが、地銀の平均リスクアセット率の50.2%程度と比較しても高水準となっています。



アウトライヤー比率

標準的金利ショック	金利リスク量	10/3期
99パーセンタイル値	125億円	12.3%

(前提条件)
・コア預金は、内部モデルにより将来預金滞留率を推計している。

第Ⅲ部
第13次中期経営計画について

第13次中期経営計画の概要

経営理念

ふるさとの発展に役立つ銀行

たくましく発展する銀行

働きがいのある銀行

差別化

愛媛銀行ブランドの確立

存在理由

—最初に相談される銀行—

第13次中期経営計画(平成21年10月～平成24年3月)

〈経営指針〉 地域No.1の金融サービスの提供

お客様ロイヤルティの追求

お客様が愛媛銀行と取引してよかったと感じていただけることです

ジョブロイヤルティの追求

行員が愛媛銀行で働いてよかったと感じることです

コーポレートガバナンスの強化

コンプライアンスの徹底を図り、規律ある経営を行ってまいります

中期経営計画について(単体)

- 預貸総和3兆円を達成し、コア業務粗利益の拡大を目指します。
- コア業務粗利益の拡大と経費抑制により、コア業務純益130億円への復活を目指します。
- 信用コストを圧縮し、最終利益の安定確保を図ります。

中期経営計画 主要目標(単体)	10/3期 実績	11/3期 計画	12/3期 計画	10/3期比
コア業務粗利益	302億円	326億円	335億円	33億円
うち資金利益	296億円	313億円	322億円	26億円
うち役務利益	4億円	11億円	11億円	7億円
コア業務純益	100億円	120億円	130億円	10億円
OHR(コア業務粗利益)	66.97%	63%	62%	△5.0%
経費	202億円	206億円	205億円	3億円
当期純利益	32億円	41億円	50億円	18億円
ROE(当期純利益)	4.5%	5.5%	6.5%	2.0%
自己資本比率	9.24%	9.25%	9.3%	0.06%
信用コスト	46億円	43億円	40億円	△6億円
不良債権比率	3.89%	-	2%台	△1.9%

当行の経営戦略
～基本的な方向性～

○既存顧客の囲い込み強化

- ・お客様対応の質的向上
ニーズや課題へのスピード感ある対応。
- ・外部(異業種や地方公共団体、大学等)との「つながり力」を活かした経営支援力を強化し地域振興に貢献。
- ・環境問題など新しいビジネスへの挑戦。
- ・マーケティングに基づく店舗戦略により、利便性と効率化を追求。

↓

当行の強みを伸ばし、お客様との関係強化のために経営資源を集中

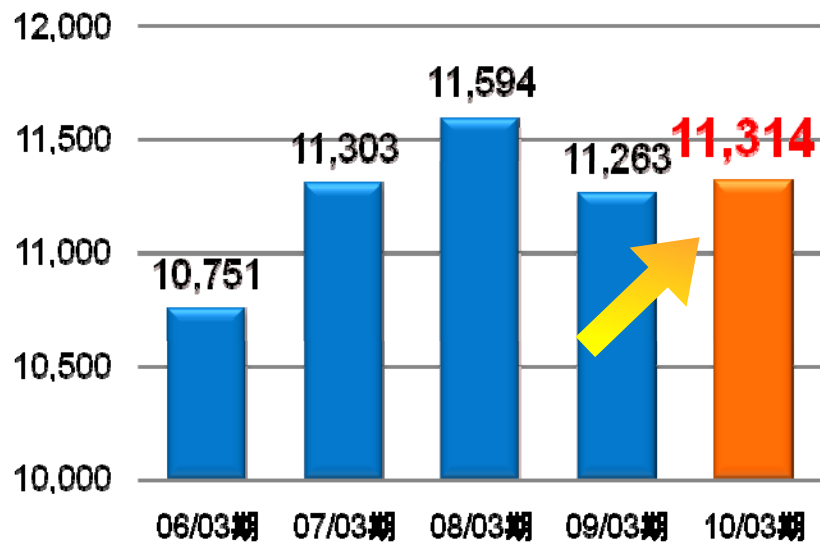
↓

コア業務粗利益の拡大を目指す

法人戦略(中小企業向け貸出)

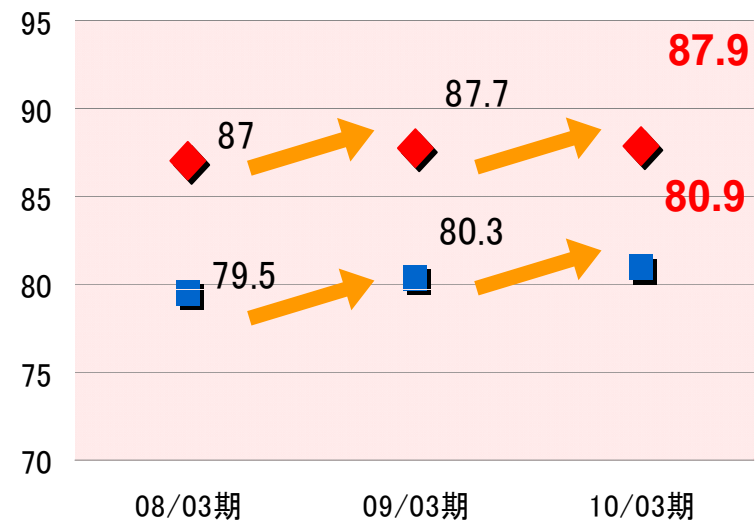
- 海運業向け貸出を含めた中小企業等貸出金残高は堅調に推移しております。
- 四国内で88%、愛媛県内で80%以上の貸出構成となっております。
- 地域銀行として「つながり力」を活かし、積極的に地域振興に貢献してまいります。

中小企業等貸出金残高推移



- 中小企業等貸出金残高は、対前年比増加
- 四国内・愛媛県内を中心とした運用

四国内・愛媛県内貸出比率

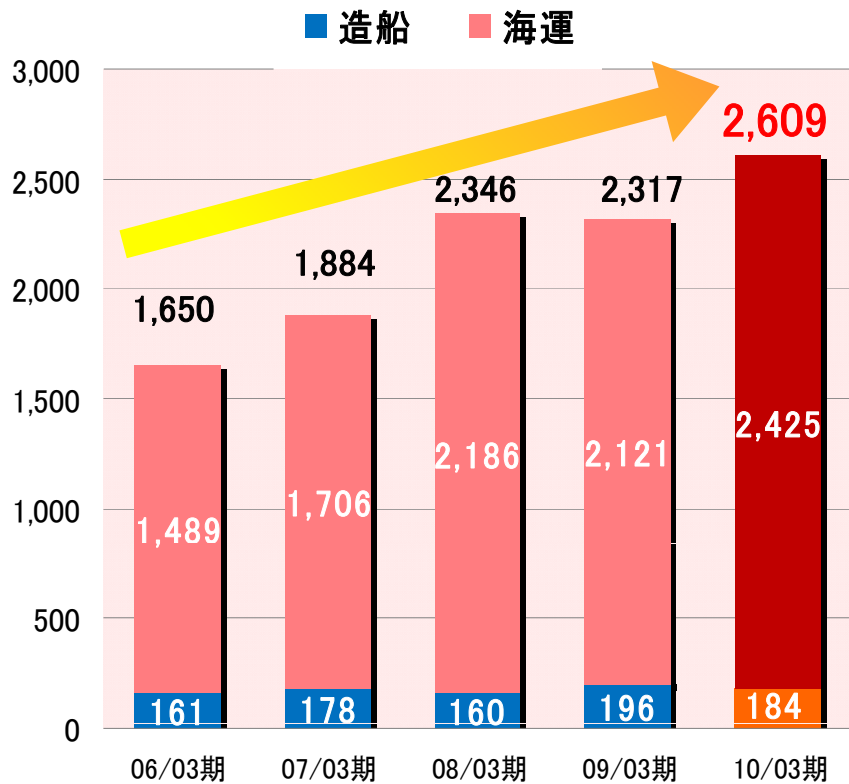


※上記残高には海運業向け非居住者(国内店名義現地貸)を含めて記載している。
 中小企業等貸出金残高には、「日銀金融統計調査」に準じ、個人(住宅・消費・納税貸金等)も含めて記載している。

法人戦略(海運関連向け貸出)

- 瀬戸内で一番早く海運融資に取り組んでいる。
- 中長期の傭船契約が主体で、市況変動の影響は軽微。
- 専門部署「船舶ファイナンス室」でノウハウを蓄積し、リスク管理を徹底。

貸出金残高推移



- 新興国・資源国の経済成長により、船腹需要も中長期的には増加傾向
- 優良船主の新造船計画を受注しており、今後貸出残高は安定的に増加
- 海運会社に出向し、「現場」を経験したスペシャリストが愛媛船主をサポート
- 永年培った経験と情報収集力で為替、海運市況等を分析、リスク管理を徹底

海運・造船計
 保全率(担保価格)・・・78%
 正常先比率……………98.7%

- 毎年海運会社に行員1名出向。(累計7名) 実際に船舶運航の実務、海外の荷主との交渉、外航船への乗組を経験

法人戦略(中小企業の付加価値を高める取り組み～新商品開発)

- 当行「感性価値創造推進室」が**新商品**をプロデュース
- お客様の「感性」に響く商品がなければ、それを創り出す「**攻めの姿勢**」を応援
- **感性価値創造ショップ「えひめイズム」**を松山市ロープウェー街にオープン！

事業者

悩み・要望



四国カルスト
天然水を
ヒット商品に！

当行

専門家による
チーム編成
デザイナー
調理師
専門家

- 商品化(天然水)
- デザイン作成
- 販路開拓(デパート)
..等

ブランド化

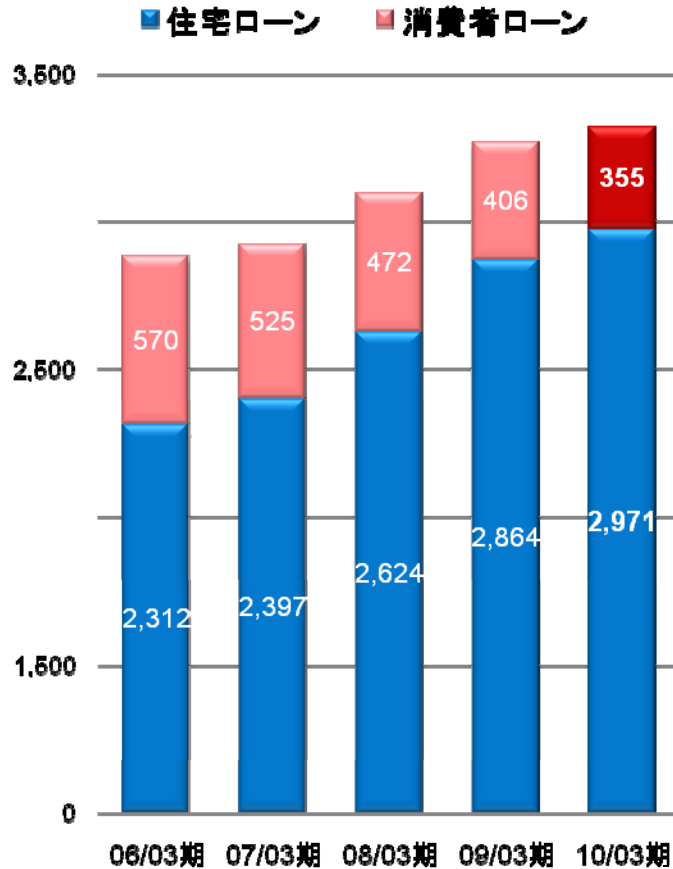


農商工連携認定
補助金や低利融資の
支援が可能に！

個人ローン戦略

- 住宅ローンセンターなどチャネルの拡充を図りながら囲い込みを進め、住宅ローン残高を積み増してまいります。
- 商品を充実させて、消費者ローン残高を底上げしてまいります。

個人ローン残高推移



—愛媛県内の専用相談窓口を拡充—

ローンセンター5カ所(松山・今治・新居浜、西条、高知) インストアブランチ2カ所(ボーチェ重信・ボーチェ松前) インターネット(HP)での事前審査受付開始

今後の対応

ローン商品の充実
個人信用格付け創設によるリスク管理強化

新商品

平成22年2月 販売開始!

来店なし、口座なし、クイック回答

ひめぎん
クイックカードローン

ひめぎんへの来店や返済口座の開設は不要

(実質年率)
年5.0%~年14.6%

ご利用限度額 10万円~500万円 審査はクイック回答

来店なし
口座なし

365日無休でお申込み可能です。※1/1限

かんたん事前審査
申込受付

事前審査
申込受付

6項目と入力項目が少ないのでスピーディー。すべての項目をご入力いただくので、ネットでお申込みが完了します。詳細は後ほどお電話でうかがいます。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画比異なる可能性があることにご留意ください。

【お問い合わせ先】

愛媛銀行 企画広報部

TEL 089-933-1111 FAX 089-933-1027

ホームページアドレス：<http://www.himegin.co.jp/>